

かけはし

第55号 平成14年7月17日発行
千代田区教育委員会



「おりひめさま、ひこぼしさま、たなばたの夜あえるといいね」

保育参加「七夕かざりづくり」千代田幼

土曜日の教室

☆ 「ふれあいスクール」スタート！

☆ 平成14年度教育予算

☆ ウエストミンスター市立学校
生徒との交流

おほしさま、あまのがわ、
たなばたのかざりいっぱいつくったよ
たんざくにおねがいをかいて
ささにかざったよ
おほしさま
おねがいとどきましたか？

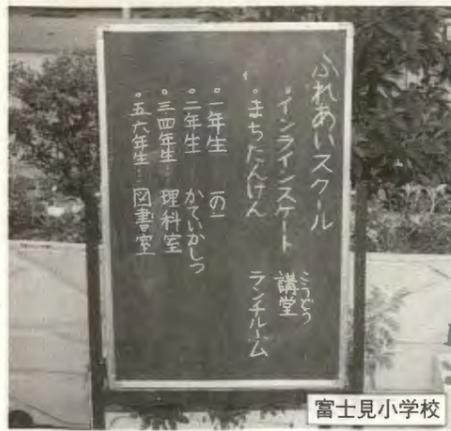
土曜日の教室

「ふれあいスクール」スタート!!

土曜日の学校に子どもたちが集います。千代田区立の各小中学校では、5月18日(土)から、第一、第三土曜日を中心に土曜日の教室「ふれあいスクール」が始まりました。

完全学校週5日制の実施にともない、土曜日に、子どもたちが様々な学習・文化・スポーツ活動に取り組み機会として開催しています。どの活動に参加するかは、子どもたちが選びます。

今回は6月15日(土)に富士見小学校、お茶の水小学校で開催された教室の様子をご紹介します。



富士見小学校

富士見小学校

朝9時すぎ、霧雨の中、子どもたちは次々と学校に集まり、それぞれの教室へ向かいました。

「おはようございます」各教室では指導員の方々と元気にあいさつをした後、それぞれの活動の説明を受けました。

●オンラインスケート教室

オンラインスケートの基本動作である立ち方、ころび方、すべり方などを指導員の方から教わりました。



そろーり、そろーり「ちょっとこわい」

スケートでのバスケットボールやホッケーなどできるようになり、子どもたちは競いながらスケートを楽しんでいました。指導員の方から「遊びを交えながら、子どもたちはどんどん上手くなっていますよ」とのお話がありました。



「みんなで滑ると楽しいよ」

●まちたんけん

4つのグループに分かれて、子どもたちは富士見のまちに飛び出しました。子どもたちは「まち」の中でクイズの材料を探し、各グループ3題作り。お互いにクイズを出し合い正解数の多いチームが勝ちというゲームです。子どもたちは、まちを探検しながら問題を考えました。「飯田橋駅前の電柱についているテントウムシの数は？」



もう一度ルールを確認し、「まちたんけん」出発!



クイズの答えをポラロイドカメラで撮りました。

「Aビル前の道路の制限速度は？」
「B店の看板に書かれた電話番号は？」
「床屋さんの料金は？」
「このまちたんけんを企画した学生の指導員の方々の名は、各グループに入り、自動車などへの安全に配慮しながら、子どもたちが楽しく活動できるように助言するなどサポートしてくださいました。」
この日は、このほかに学習相談教室が開催されました。

お茶の水小学校

お茶の水小学校では、149名の子どもたちが自ら選んだ活動を行うために学校に集まりました。

●コンピュータ教室

コンピュータ室で、ぬり絵のソフトから自分の好きなイラストを選び、自由にプリントします。できあがったらプリンターで印刷し、できばえを楽しんでいました。また、日本の白地図上に都道府県をあてはめていくソフトの操作を習いました。

その後、インターネットを使って、興味のあるテーマ、知りたいことの情報を検索しました。サッカー日本代表のホームページから選手のプロフィールを調べたり、好きな漫画やドラマのホームページを調べたり、お互いに検索方法を教え合っていました。



困った時は、みんなで相談しました。

●手作り教室

低学年の子どもたちは、詩を読み、そのイメージをイラストにするという課題を与えられ、思い思いにクレヨンで絵を描いていました。ときどき指導員の先生にできばえを見せながら、自分のイメージをどのように表現するかアドバイスを受け、作品を仕上げていきました。



夢中で画用紙にイメージを描きます。

高学年の子どもたちは、ぬい物を習いました。なみぬい、半返しぬい、ま



「今回は特に心をこめて、作ってます」

●ボール・ゲーム教室

小雨のため、子どもたちで相談し、はじめは講堂でドッジボールをする事になりました。ゲームがはじまると講堂はたちまち子どもたちの歓声でいっぱい。そのうち雨がやみ、校庭が乾いたのを確認して、場所を校庭に移しました。高学年の子どもたちが進んで道具出しを行い、たちまちミニサッカーとラケットベースの準備が整いました。声をかけながらのプレーに、学年を越えた子どもたちの輪が確実に広がっていきように見えました。



「それ!」ドッジボールが始まったぞ。



4チームにわかれて試合をしました。シュート! きまったかな?

●和太鼓教室

指導員の方から体操、素振りの指導を受けた後、「ドン、ドン、ドン、ドン」のリズムとりの手ほどきを受けました。

平成14年度教育予算

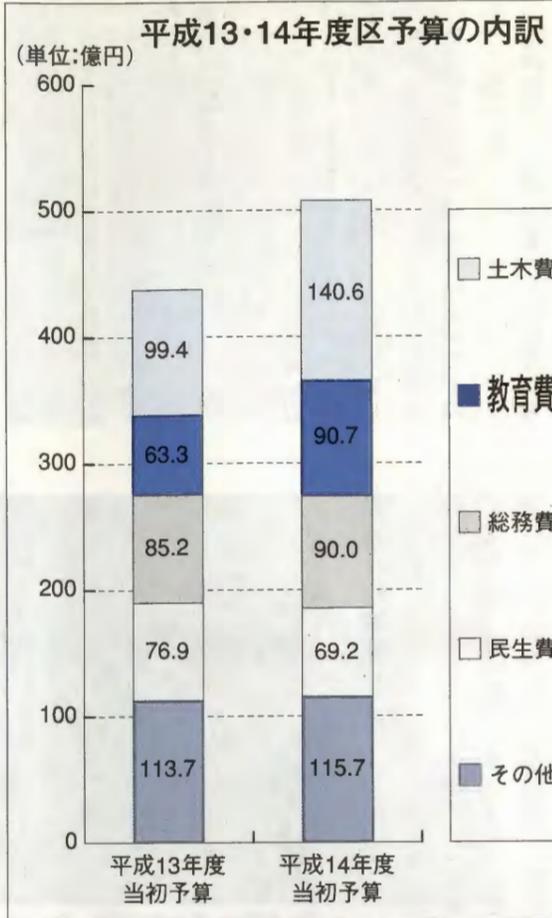
総額 九〇億七、四〇〇万円

〈主要な事業〉

小学校建設
(仮称) 麴町二丁目公共施設
四〇億一、九〇〇万円

教育委員会では、新学習指導要領の実施により、子どもたちが、学校だけではなく、家庭や地域社会で様々な生活体験や社会体験、自然体験を経験し、急激な社会変化に対応して主体的・創造的に生きていくことができるよう資質や能力を身につけることを目指します。そのため新規事業を含め、次のような事業を実施していきます。

新しい時代に対応した教育活動の展開と生涯学習施策にも対応する教育環境の整備を図るため、麴町小学校・幼稚園、番町出張所・区民館、ストックヤードからなる(仮称)麴町二丁目



公共施設を建設します。
(平成15年2月竣工予定)

中学校給食の実施

二億二八万円

給食が未実施の中学校3校(麴町中、九段中、今川中)で給食を実施します。方法は、既に実施している2校から新規に実施する3校へ給食を運ぶ親子方式で、民間委託方式で行います。

開始時期 平成14年9月

基礎学力向上プラン

一、二二七万円

小人数指導や小学校における教科担任制導入など、きめ細かな指導を行い、基礎学力の定着や発展的な学習への対応を図ります。

また、指導の効果を測る学力達成度調査を実施します。

教科担任制研究校 小学校2校

学校週5日制への対応

一、三〇〇万円

学校週5日制の実施や新教育課程施行にともない、学校の自主的・主体的な取り組みを支援するための予算を計

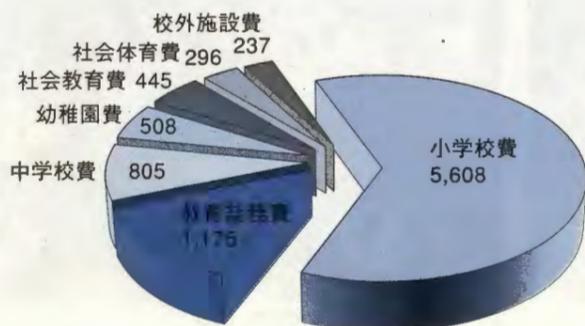
上し、教育内容や体制の充実を図ります。
小中学校各校二〇〇万円

「コミュニティーパワー」の活用

五四〇万円

地域でのボランティア活動や社会体験を通じて、児童・生徒が社会性を身につける機会を設けます。また、専門知識や専門技術等を持つ地域の人材を、ゲストティーチャーとして学校の学習活動に活用し、児童・生徒の学習意欲の向上や望ましい職業観等の育成を図ります。

平成14年度予算額 (単位:百万円)



ウエストミンスター市立学校生徒との交流

5月28日(火)、英国ウエストミンスター市立学校の男子生徒7名、女子生徒7名、引率の先生方5名が来日しました。

区立中学校の生徒の家庭にホームステイし、日本の生活習慣にふれ、学校に通い、交流を深めました。短い期間でしたが、充実した日々を送り、別れを惜しみつつ、6月7日(金)帰国の途につきました。

千代田区、ウエストミンスター市両校の生徒にとって、とても貴重でかけがえのない交流になったと思います。ホストファミリーのみなさまはじめご協力いただきましたすべてのみなさま、ありがとうございました。



お寺が木で作られているのが印象的でした
(都内見学:浅草雷門にて)



不思議な東洋の音色でした

～ ウエストミンスターの生徒の感想 ～

- ・日本にたくさん友達ができ、そしてたくさん日本の文化が学べました。
- ・学校生活はイギリスと違うけど、とても楽しかった。
- ・先生やクラスみんなはとてもよくしてくれて、とても楽しかった。離れる時はさみしいです。
- ・もっと日本のことを勉強してくればよかったと思いました。
- ・鎌倉でサムライの文化にふれることができ、とてもよかった。
- ・ホストファミリーはとてもやさしく、そして気遣ってくださいました。
- ・ホストファミリーに日本の文化についてたくさん教わりました。
- ・今の自分を成長させる経験になりました。

～ ホストファミリーの感想 ～

- ・緊張感がありながらも楽しい毎日でした。長くて、短い11日間でした。これを機に交流を深めていきたいです。
- ・親子ともいい経験になり、イギリスが身近に感じられるようになりました。
- ・言葉や生活の違いがあっても、まごころさえあれば必ず通じ合えると感じました。
- ・いつの間にかいつもいる家族の一人になっていました。

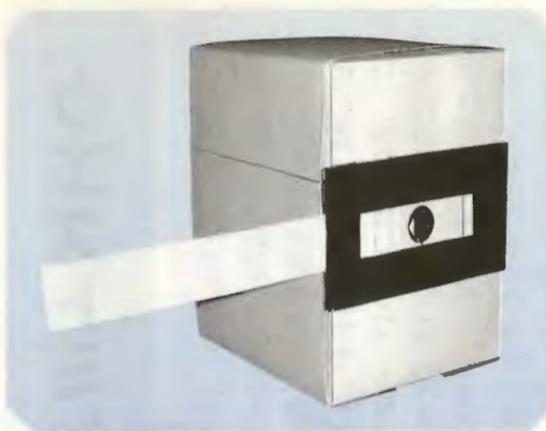


習字に挑戦 いかがですか?

体験教室
昔の道具にふれよう
「四番町歴史民俗資料館」

資料館や博物館というと、役に立たない古めかしいものが置いてある場所というイメージはありませんか。四番町歴史民俗資料館は、実際に区内で使われた暮らしの道具を保管したり、江戸時代の遺跡から発掘された茶碗などを調査したりして、区の歴史や文化を伝えていく施設です。

夏休みに開催する体験教室では、「昔の道具に触れよう」と題して、古い生活道具を実際に使ったり、日本カメラ博物館の協力を得てピンホールカメラ



ピンホールカメラ

を作り撮影する中で、身近な道具の歴史を知ることができます。また、大昔の出土物の調べ方などを体験することで、めったに見ることのできない資料館の裏側を体験することができます。

	開催日時	場所	内容
ピンホールカメラ	7月27日(土) 9時30分～16時	九段小学校(午前) カメラ博物館(午後)	ピンホールカメラを組み立て、 #実際に写真を撮影します。
*江戸城探検	7月28日(日) 9時30分～12時	皇居東御苑	皇居内を訪ねて、文化財を調べます。
昔の生活を体験しよう	7月29日(月) 9時30分～13時	四番町 歴史民俗資料館	昔の生活道具や遊びを体験します。
資料館探検	7月30日(火) 9時30分～12時	四番町 歴史民俗資料館	収蔵庫にある資料に触れて、拓本や測量など資料館での仕事を体験します。

*「ピンホールカメラ」は、雨天等の場合、写真撮影ができない場合もあります。

*「江戸城探検」は、原則保護者の同伴が必要です。

夏休みの自由研究にも最適ですので、ぜひご参加ください。

◎とき…7月27日(土)～7月30日(火)までの4回

◎募集対象

20名(7月28日は、原則保護者同伴)
区内在住・在学の小学校高学年(5・6年生)

◎受講料…670円

◎申込方法…往復はがき往信に住所、氏名、電話番号、「資料館体験教室」と明記し、四番町歴史民俗資料館(千代田区四番町1)へ

◎しめきり…平成14年7月19日(金)必着

◎協力…日本カメラ博物館



昔のくらし体験授業より

図書館子どもまつり



☆おはなし会

7月27日(土)、8月3日(土)、24日(土)、いずれも幼児向け(午後2時～2時30分、小学生以上(午後3時～3時30分)

☆親と子の読み聞かせ講座

8月27日(火)、午後2時～3時

☆夏休み宿題相談 8月31日(土)まで、読書感想文の書き方や自由研究の材料探しの相談に応じます。

※毎日午後5時まで(休館日を除く)

お問合せ

千代田図書館(九段南1-6-11)

電話(3264)2111

内線 3177

孀恋自然体験交流教室

～小学校5年生 春の移動教室～



孀恋村と私たちの千代田区は姉妹都市の約束をしています。それで、毎年孀恋村で春と秋に2泊3日の体験交流教室が行われています。

【宿泊所】軽井沢少年自然の家

【1日目】孀恋郷土資料館、鎌原観音堂を見学。創作実習館で竹トンボを作成。

【2日目】孀恋村の小学校で対面式。畑で、ジャガイモやキャベツの作付けの体験。

孀恋村の高原の気候は、キャベツの



育成に適しており、関東各地からの出荷が終わったあと、市場に出荷していることを学びました。

みんなが植えた種イモが、孀恋村の自然にはぐくまれ、10月には、たくさんのジャガイモになると思うと、秋の移動教室が、今から楽しみです。



いきいきプラザ一番町での交流

(麴町幼)



運動会「いかだ流し」

(九段中)

◇一学期の

出来事◇◇



神田消防署見学

(昌平小)

随想

きょういく

幼い時から神保町・麴町に育ち、子ども達も区立小・中学に学び巣立っていった。

今なお千代田区民として恩恵を受けている私に、今回教育委員という大任が与えられた。目下、産婦人科医としての自分がどのように役立つか模索しつつ新しい任務に励んでいる。

思春期から更年・老年期の心と体に関する診療や啓蒙活動を続けている私から見ると、若者たちの現状は厳しい。私達の世代は中学生の時から勉強の時間を戦争の為に奪われ、物資の無い時代に生きてきたから物を大事にせざるを得ず、学問に飢えていたから今でも学ぶことに貪欲である。それに比し、今の子は学問も物資も浴びるほど与えられ、その洪水の中で生きるといふ難しいテーマを課せられている。更に、性の情報が乱れ飛ぶ世の中で妊娠、性感染症予防について正しい知識を獲得しなければならぬ。

また、昔はなかった摂食障害（拒食・過食）もふえている。表面は単なる「痩せ願望」に見えても、実は学校でのトラブル、あるいは幼児期からの親子の葛藤など心理的要因もある。時には会社人間である父親の不在が母親の

心の均衡を欠くことになり、エネルギーが全部受験勉強に注がれるなど、社会の歪が家庭の歪をきたすことさえある。摂食障害は無月経など、女性の健康を損なうものであり、将来の不妊にもつながる。早期から長期的な心と体の治療が必要であり、学校での養護教

今思うこと

～臨床医の立場から～

堀口雅子



諭を始め先生方の対応も大切である。何か変だという気づき、親への注意、医療への接点、頑張れと言わず今のあなたで良いというサポート。思春期特有の自己への自信のなさが根底にあるから、先生方と家族の病気に對する正しい認識は我々にも心強い味方である。

性の学習（性教育）も必要不可欠である。目的は性行為にまつわることでなく、人間とは、性とは何か、性は大切なものという学びである。性の学習は「何時から、誰が、何処で、どの様に、何時まで行うのか」「物心ついたら、家庭（個）や学校（集団）で、親又はそれに代わる人や先生が、折にふれ、さりげなく、ごまかさず、恥ずかしがらず、何歳になっても大切なこと」という指導を行って欲しい。

若年層での性行動の活発化は、臨床で痛感している。夏休みのあと増加する男女中学・高校生の性感染症治療、妊娠した少女への対応。これでもか、これでもかというマスコミの影響下にある子どもたちを、無防備のまま放置することは許されない。「性教育をできるだけ早いうちから、男女同席で」と大人になった若者からメッセージ、先生方からの自信を持った言葉「私たちの教えた子は、性の怖さを知っているから無茶をしない」も聞こえてくる。

ほりぐち まさこ

千代田区教育委員

産婦人科医師

きょういく

随想

編集後記

土曜日の教室「ふれあいスクール」の取材では、子どもたちのエネルギーに圧倒されました。どの教室をのぞいても、皆夢中になって活動しています。帰るときには、指導員の方々の「またね」というあいさつに、いっぱい笑顔で「またね！」と元気にこたえます。その様子がとてもまぶしくみえました。

取材の帰り、神保町の街角であじさいを見つけました。雨の多いこの季節に街を明るくしてくれるあじさいの花、その日はくもり空の下だったけれど、花の色は、むしろ色あざやかに見えました。

子どもたちの生き生きとした元気な姿と街角のあじさいの花に元気を分けしてもらった気がしました。ありがとう。

「かけはし」についてのご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。次号かけはし56号は9月末日発行予定です。

教育広報「かけはし」第五十五号
平成十四年七月十七日発行
編集発行／千代田区教育委員会
〒102-8688 千代田区九段南1-6-11
☎(3)264)2111 内線3115